

高ヶ坂・成瀬地区 地区別懇談会 意見まとめ

開催日時：10月23日（日）14時～16時

参加者数：会場：50名、オンライン：3名 グループ数：会場：10グループ（A～J）、オンライン：1グループ

分類方法：ラウンド1で出た意見を、ワードや内容から分類・整理し、多い順に並べています。ラウンド2・3の意見は、ラウンド1の分類を元に紐づく意見や近しい意見を整理しています。

下記の票は、分類と意見をラウンド順に左から右へ、確認できる形にしています。

※ 表中の意見末尾の（）はグループ名を表しています。

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (98件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(108件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(97件)
子ども(19件)	(全般:4件) ・子どもが楽しく過ごせる→子どもの選択肢が増える。(B) ・ワクワクする。子どもたちの力・役割。(H) ・子どもが楽しげにしているとそれだけで笑顔が増える。(I) ・小さい子とか小さかった子の成長が見られるまち。(J)	子ども(18件)	(全般:1件) ・屋内の子どもセンターを設立する。(C)	子ども(14件)	(全般:2件) ・子どもをきっかけに親へのアプローチ。(I) ・まちとの活用。(J)
	(学校・部活動:5件) ・スケジュールをこなすことになってしまっている、多様性の余裕がない状態。学校は可能性がある場であるが、教員が今は手一杯の状態。(E) ・地域の方に学校の行事を見に来てもらいたい。子どもの姿を見てもらいたい。(G) ・総合学習に地域の方に来てもらい先生になってもらおう。(G) ・地域の人と生徒(幼稚園、小中学校)と一緒に何かを作り上げる。(G) ・自由に開けた学校・学校を地域に開放。(I)		(学校・部活動:2件) ・PTAの加入、未加入。PTAの良さをアピールし、発信していく。(G) ・世代間の交流、学校を地域交流の場へ。(I)		(学校・部活動:2件) ・地域にもっと目を向ける。(教員の立場では、異動があるが)学校の中にいろいろな方々を取り込んでいく。(E) ・学校の開放はある。(E)
	(居場所・遊び場:4件) ・一年を通して子どもを引き連れて気軽に行けたり、何か育てられている場所がある。(C) ・子どもが安心して遊べる、団地まつり。(F) ・子どもセンターがあると、子どもが集まれる。(H) ・路地に子どもの声が聞こえる、まちを若返らせる、子どもの遊び場。(J)		(居場所・遊び場:5件) ・アフタースクールの子どもの場所を貸せる。(A) ・子どもへのダメ出しの無い場、ウィンウインの関係づくり。子どもと高齢者が一緒に昔遊び。(F) ・冒険遊び場。(G) ・子ども食堂(世代を超えて顔合わせると解決できることがたくさんある)。(H) ・月1回のあそびのひろば、シバヒロなどで。(J)		(居場所・遊び場:3件) ・学校にいけない子どもの居場所づくり。(D) ・学校にいきたくない子どもがいける場所をやっている。(D) ・学校にいきたくない子どもがいける場所には高齢者の方が来てもいい、座れる場所がある。(D)
	(イベント:4件) ・ママと子どもが楽しめるイベント(レインボーピクニック) 参加・企画で元気になる。(A) ・子ども中心、企画するイベント。(D) ・コロナで子どもがイベントに参加していない。(D) ・子どもが少なくなってしまった(さみしい)。子どもがたくさん参加できるような行事。(G)		(イベント:0件)		(イベント:0件)
(交流・つながり:1件) ・地域への開放(保育園児と触れ合う機会が以前はあった)。(G)	(交流・つながり:4件) ・子ども会は必要。(D) ・夏休みの子どもにラジオ体操や昔話の読み聞かせ。(I) ・夏休みの子どもたちと外部のつながり。(I) ・寺子屋、子どもセンターなどで大人と子どものつながり。(I)	(交流・つながり:4件) ・センターの副会長に子ども関係のつながりある人を置いてネットワークを広げている。(A) ・自主的に見守りをしている人にビブスを配布→緑のビブスを着ている人にはあいさつしようと子どもに言える(学校やPTA)。(H) ・子ども会が成り立たない。(J) ・学童を子ども会とみなしてお金なり人手なりが入れば。(J)			

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (98件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(108件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(97件)
子ども(19件・ 続き)	(子どもの意見表明・参加:1件) ・子どもが自分で『つくる』イベント。(D)	子ども(18件・ 続き)	(子どもの意見表明・参加:6件) ・中学生(学校を通して)に地域にかかわる役割を持ってもらう←「その依頼ができるよ」等、世代交流にもつながる。(A) ・中学生の職場体験ができるように地域の人とも知り合いになって欲しい。(B) ・定期テストが終わってからまちをキレイにしている(中学生が)。(B) ・子どもが自由にできる環境(大人は遠くから見守る)。(D) ・子ども自身がルールを作れる環境づくり。(D) ・まちだの寺小屋(寺フェス)年2回(春、夏の彼岸)お子さまを実行委員にしている→用がなくても来る→居場所づくり&成長も見られる。祥雲寺。(J)	子ども(14件・ 続き)	(子どもの意見表明・参加:3件) ・中学生の職場体験→地域の人を知る機会だった→コロナで中止になっている…(A) ・中学生よりも高校生の方が参加する可能性が高いかも。(A) ・子どもたちが作るイベント(子どもが中心になる)。(G)
お祭り・イベント (12件)	・成瀬台まつり。(A) ・星空映画祭。(A) ・お祭り等、イベントが増えると活気づく!!(A) ・盆おどり⇒コミュニティが形成される(D) ・気軽に参加できるイベント、子ども会のバザーよかった。(D) ・お祭り、おみこし。(G) ・市民運動会。(G) ・地域の行事も少しずつ開催されてきた→学校や保育園にも参加をよびかけている。(G) ・参加して自分のことができることがあれば、イベントなど家を出るきっかけになる。(H) ・夏祭りの雰囲気。普段は顔合わせなくても集まる機会。(H) ・成瀬はお祭りが盛ん。学校が協力してくれた。(H) ・お祭りがある。イベントがある。(I)	お祭り・イベント (19件)	・成瀬会館でのお祭り。(A) ・祭りなどの伝統行事も体験して欲しい。(B) ・お祭りを開催する。地元に戻ってくるきっかけ。(C) ・イベント開催のノウハウを学べる場をつくる。(C) ・学校の保護者と地域が協働してできるスポーツイベント(素人だけだと困難)。(D) ・お祭り、盆おどり、久々開催みんな集まった。(D) ・高ヶ坂という大きな地区で、一種目の競技大会をやる(つな引き)。(D) ・高ヶ坂という大きな地区で、もちつきをする。(D) ・いろいろな年代の方が自由に集い遊べる場所を作る。例えばお祭りなど。(E) ・イベントでの交流。参加すると何かのポイントが付くとか…。(E) ・イベント(花火大会とか)。(E) ・しかし、何かあったらどうするのかの、責任問題も出てくる。実際に、なぜ花火などするのか？と、交番に通報した(された)例もある。(E) ・コロナが落ち着かないと。コロナ禍のなかでのお祭り。(G) ・お祭りなどの再開。(G) ・お祭りを開催し、たくさん子どもたちがきた。やる側も楽しかった。次につながる活動。(G) ・お祭りに子どもがたくさん集まる→停滞しているわけではない(H) ・自分の趣味で動く人が多いから老若男女問わないイベント。(J) ・いろんな場所で地域のみんなでいろんなことをするのが楽しいな！って思えるような企画があるといいと思う。(オンライン) ・地域でやっているイベントにみんなに参加できるように。得意なものにもみんなが参加できるようになるといい。(オンライン)	お祭り・イベント (7件)	・デイクャンプとか、新しい企画。(A) ・お祭りは参加することも楽しいけど、運営準備面が大変。(C) ・嫌々ではなくイベント運営を学びながら楽しんでできる場があれば。(C) ・お祭り、盆踊り、いい。(D) ・盆踊りの練習会やる地域もある。(D) ・お祭りや地域のイベントで知り合いになる。(G) ・祭りがきっかけで離れた人が戻る。(I)
拠点・居場所 (10件)	・自分を受け入れてくれる場所、イベントがある。(C) ・定期的集まって話せる場所がある。(C) ・ここに行けば仲間会えるという場所がある。(C) ・仕事や学校以外で自分の居場所がある。(C) ・自由に入りができる場所がある。(C) ・好きなことができる場所(イベント)が多数ある。(D) ・趣味の活動(ゴルフ、カラオケなど)を増やす。ひだまりカフェみたいな、わいわいするところを増やす。(F) ・集まって話をする。(G) ・ワクワクするのは人と会うこと、人と集まる場を増やす。(I) ・施設があつて居場所があるまち。(J)	拠点・居場所 (5件)	・施設が使えない3年間活動が出来なかった。場所は大切。(H) ・体育館、テニスコートで制限なし。(H) ・空き室を予約システムを使えない人などが使いやすい形で貸せる仕組みをつくる。(H) ・「お気軽永尾亭」では、気軽に話せる場にして、老人ホームやお墓の話など悩まれている方への勉強会を行えたらいい。(オンライン) ・「寺子屋ごはん」は多世帯交流の場を目指したい。高ヶ坂(みんなのご飯)はコアで盛り上がらない。これから頑張っていきたい。(オンライン)	拠点・居場所 (3件)	・市と連携できると安くなる施設がある。(D) ・好きなものを見つけられる場所の提供をする(地域の方とつながるきっかけをつくる)。(E) ・お寺は、開かれていなければと思う。遊び場として開放したい(寺フェス)。(E)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (98件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(108件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(97件)
多世代交流 (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代関係なく集まれるイベント(ex マルシェ スポーツ大会)。(A) ・ 世代間交流。(A) ・ 多世代の仕組みを地域につくる→成瀬コミュニティセンターの設立経緯(A) ・ 知り合いの子ども・保護者・高齢者の方々が増えて様々な場所で話したい！！(B) ・ 自分が普段交流がない世代の人と交流ができる場所がある。(C) ・ 老若男女参加できるイベントが多いと知り合う機会になる。(D) ・ 異世代間の交流が生まれるまち(自分の世界だけではなく、他の人に対して無関心をなくしたい)。(E) ・ 新しい刺激が必要、遊びの広場、縄跳び、紙芝居、ボール遊び、子どもから高齢者の交流が毎日になると良い。(F) ・ 子どもも高齢者も楽しめることができるシステムづくり。(I) ・ 成瀬台では子どもも大人も一緒に活動できる「寺子屋ごはん」が最近できた。子どもには大人が勉強を見たり読み聞かせをしたり一緒に交流できるようにしている。(オンライン) 	多世代交流 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が子どもに教える集まり⇒高齢者だけの趣味の集まりにつながる(D) ・ 話ができるところを作り続けていく。多世代に忙しい親世代が関わると良い。スマホを教え合うなど。(F) ・ 新しいことに出会う、多世代交流、出会う場づくり。グラウンドを活かしたつながり、老人と接することで、子どもは高齢者を理解できる。(F) ・ 子育て世代と自治会の交流。(I) 	多世代交流 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマホ活用(スマホ教室は高校生が講師)。(A) ・ 多世代交流の機会(例:昔、今の遊びを教え合う)増やしていく。(B) ・ スマホ教室に高校生を講師として呼ぶ。(G)
交流・つながり づくり (7件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な人が運営に携わり、つながっていく。(D) ・ 成瀬は横のつながりが強い。(H) ・ きっかけがあってコミュニティが広がる。(I) ・ 地域のつながりを増やす。(I) ・ 成瀬台は見守りを熱心にしていてすばらしい。(H) ・ 誰かと一緒というのは安心するし、感想を言い合って共感できるものがあると楽しさも倍増する。おしゃべりサロンは7年続けている。(オンライン) ・ 今まではいろんなボランティアをしていたが、どうつなげていったらいいかわからなかったが近所でいろんなことが行われているのを知ることができてよかった。今後つながって行きたいと思った。(オンライン) 	交流・つながり づくり (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域交流のための課題解決に協力できる。(A) ・ 地域の人やサークルの人とのコミュニケーションは楽しい→それ以外の人が難しく重要(B) ・ 成瀬は横のつながりが強いイメージ。(J) ・ 困ったことがあれば、地域の方につなげていきたい。(J) 	交流・つながり づくり (9件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ この活動が増える事によりボランティアや他の活動、外でのコミュニケーションにつながる。(B) ・ 今日の懇談会は、つながりを生み出す。(D) ・ 懇談会の参加者リストがあるといいかも。(D) ・ 全体のつながり、広がりを考えたい。横につながれる方法を考える。地域の皆さんに伝える。(E) ・ ペスカドーラに先導してもらって交流につなげる。タブレットを活かす。(F) ・ 居場所、イベント、清掃等、作業をしながらおしゃべりをする知り合いが増える。(G) ・ 顔見知りを増やしてつながりの輪を広げる。(I) ・ 学校がコミュニティの土台になる。(I) ・ 地域交流→新しく発掘していくのが難しい。(J)
活動のしくみ (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従来のやり方を踏襲するのではなく、やりたいことだけやる(ガラガラポン！！)。(A) ・ コロナ禍でもオンラインでつながれるまち。(C) ・ 自由に出かけて、自由に活動、しぼりの無い、あぶないからやらせないは無し。隣の情報があると良い。(F) ・ コロナがインフルエンザのような扱いにならないと、規制が多い。(G) ・ 地域の行事に参加したいが制限がある。(G) 	活動のしくみ (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナにかこつけてやらない→責任をとりたくない→これでは何もできない→そこを後押しして欲しい(H) ・ 多人数での組織づくり、みんなで作っていかないとまとまらない。(I) ・ 子ども食堂立ち上げたい人→銀行の協力が欲しい(きらぼしさんの後ろ盾あり)(J) ・ 寺子屋ごはんは資金がなくて困っている。支援してもらいたいと思っている。ふれあいサロンは実費のみ支援。大がかりなことをしてお金はかかる。食材は近所のひとから提供してもらっている。(オンライン) ・ 子ども家庭支援センターでは子ども食堂のネットワークをつくっているの、そこであれば加盟をすれば支援をもらえる。(オンライン) 	活動のしくみ (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横割りの方が今は必要でワクワクできる関係性。(B) ・ 準備している段階でもワクワクできれば 横のつながり(地域の方との)があれば。(C) ・ 団体同士が横につながる事が大事。(D) ・ わかりやすい仕組み。(H) ・ ケアセンター成瀬と一緒にイベント。(J)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (98件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(108件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(97件)
まちのイメージ (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の方から子どもまで笑顔。(H) ・ワクワクするもの楽しいものに出会えるまち→様々なつながりがある(B) ・お年寄りが元気なまち。(E) ・どこにどんな人がいるのかわかるまち(人の動きがわかる)。(E) ・ワクワクする選択肢があればよい(視野が狭くなってしまっている)。与えられたものではなく、いろいろなアクティビティをみんなで作らあげ、みんなでワクワクするまちを！(E) 	まちのイメージ (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの声が響くまち、お年寄りも子どもも、顔がわかるまちにする。(E) 	まちのイメージ (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・『推し』(おし)(ex プロサッカーチーム町田ゼルビアとか、アイドル等)があると、ワクワク生きていける。(E)
あいさつ・声かけ (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のだれにでもあいさつして、気づけるまち。(D) ・ウォーキング中あいさつができるまち。(G) ・あいさつが飛び交うまち。(H) ・あいさつで顔見知りが増える。(H) ・みんなが顔見知りになって、あいさつが気軽にできるまち。地域が一つの家族になるといい。(オンライン) 	あいさつ・声かけ (8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをしても、学生が反応してくれない…(A) ・知ってもらうため顔見知りの関係づくり→あいさつ(A) ・声かけ、あいさつへの協力ができる。(A) ・あいさつを重ねることで子どもとも知り合いになれる！！→保全活動につながる(B) ・あいさつ啓発ポスターでコミュニケーションのきっかけを。(C) ・あいさつ運動。(D) ・知らない人とは話さない→よく合う人とはあいさつ。子どもへの伝え方。(H) ・あいさつが出来ない地域というのが問題。(H) 	あいさつ・声かけ (7件)	<ul style="list-style-type: none"> ・だからこそ、あいさつ・声かけ。(A) ・民生委員、あいさつ運動、イベント手伝いできる。(D) ・まず、自分自身がワクワクしなければならないと思う。それは、『あいさつ』が第一歩。(E) ・あいさつ。(G) ・知らない人から声をかけられても、話をしないことになっているので。知り合いになる。(G) ・あいさつを通じてコミュニケーション、つながりを増やす。(I) ・町内会で声かけ活動。(J)
活動の担い手 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が何かに携わっている。(C) ・一歩踏み出すと応援してくれる人がたくさんいる。そういう人がもっと見えてくるとワクワク。(H) ・参加意欲があれば活動できる。(J) ・得意な分野が人それぞれあるのでそれを生かせるように南第3高齢者支援センターで関係をつなげることもしている。(オンライン) ・寺子屋ごはんをはじめたのは4人の若いお母さん。今は高齢者も巻き込んで学校帰りの子どもと夕方まで遊んでいる。(オンライン) ・若いお母さんのエネルギーはすごい。(オンライン) 	活動の担い手 (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・活動・地域にかかわっている人。(A) ・バックアップしてくれる体制はないか。(D) ・リーダーをフォローする体制がないといけない。(D) ・今の大人はワクワクしてきた体験がある→やれることはどんどんやっていく(G) ・子育て親世代が地域、お祭りのこと(運営)に関わっていないことが多い。(H) ・子育て親世代は、誰がどのように声をかけると参加してくれるのか。(H) ・子育て親世代が興味を持てる声掛け／参加しやすい仕組み／参加してもらおう仕組み。(H) ・色々な団体に協賛で関わってもらおうと広がる。(H) ・高齢者支援センターの協力→最初はハードルが高い→企業が絡んでくるといい(企業と有志のつながり)。(J) ・いろんな人を巻き込んでいくにはどうしていったらいいのか、一人ひとりが何かの形で地域に関わっていくには自分や周りの人には何ができるのかを考えていきたい。(オンライン) 	活動の担い手 (18件)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単にできる登録制ボランティアシステム→地域の参加率が上がり地域の人の認知度が上がる。(B) ・まずは保護者から。(B) ・ボランティア、民生委員、担い手がいない。(D) ・ひとりではできない。連携ができてきているので、まとめ役が必要、お祭りの効果あり。(F) ・できることは思い切ってやること。少しでも一歩すすめる。(F) ・企業を巻き込んでつなげる。電話で、セルビア・ベスカドーレ・アンダー15 など、ワークショップで人を集める。新しい物を使ったり、昔の物を使ったり。(F) ・人材バンク(自分の特技などを登録)。(G) ・地域の専門家、プロのような人に講師になってもらう。(G) ・色々な企画に学校が協力してくれると良い。(H) ・コミュニティスクールになったので、どんどん学校に言ってもえると仲介しやすい。情報発信しやすい。(H) ・お祭りの運営している側が頼んだり、開いていないと受け入れやすい雰囲気。運営に入る人が増えない。(H) ・既存のものではなく自分でやっちゃう。(H) ・自分で進める方が楽。(H) ・地区協議会もやりたい人がやる仕組み。(H) ・入り口として地区協議会が良い？(H) ・一人ひとりのモチベーションが大事。(I) ・若い人に移していきたいが、65歳以上だと働きたい人が多くて入ってもらえない。(J) ・学童に主婦の方も参加をしたらいい。(J)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (98件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(108件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(97件)
情報発信・共有 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ マルシェ・イベントの情報発信があると助かる。(A) ・ 地域のイベント情報を何回も知らせることが重要。(D) ・ 市役所の方へお願い⇒掲示板を見られるシステム・情報集約(たくさん掲示されているのに、知らない。ネットの世界になっていて、地域に目が向いていないので)(E) ・ 集まってくる人がいろんな情報を持ち寄ってくるのでいろんなことを知ることができる。(オンライン) 	情報発信・共有 (19件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政からの情報があれば良いと思う。(B) ・ ネットの普及により情報が回ってこないで、情報を取りにいかねればならない。(B) ・ イベントの情報発信が少ない。(C) ・ 自治会に入っていない人にも情報を発信していく。(C) ・ 地域のイベントの情報がわかるといい。(D) ・ 地域のイベントを知ること(情報が無い)。SNS、紙媒体でも情報を得る。(E) ・ 何らかの手段で情報を得ること、主体的にやる、やれる人がやっていく。(E) ・ 地域のみではなく、行事の情報(お知らせ)をもっと広める。横のつながりを広める。(E) ・ 行事などの周知を子どもへしっかりする。(G) ・ 地域が違うとイベントを知らない。→情報発信をする(G) ・ 自由に掲示板に貼れるところがない。駅など公共交通機関で告知。(G) ・ 子どもが学校へ行っていない世代への周知。(G) ・ これから子どもを育てる世代へアプローチする。(G) ・ 情報発信の仕方。(G) ・ 口コミで輪が広がる。(I) ・ 情報が流れない(地域活動 団体)。(J) ・ インターネットは情報に偏りを感じる→子どものコミュニケーションスキル心配(J) ・ 情報がなくて届かない。信金(農協)の営業さんと情報交換をかつてはしていた。(J) ・ こういった会(懇談会)にも参加して情報を得る。いろんな人の話が聞ける場所に参加したい。(オンライン) 	情報発信・共有 (24件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信として駅とかに掲示→子育て世代以外にもつながる。(A) ・ 小・中学校の校門に掲示板があるとよい。(A) ・ 掲示板の更新少ない。(A) ・ スーパー、コンビニとかに配架してもらう。(A) ・ LINEの活用。(A) ・ Twitterの#ハッシュタグ、これからの人を考えた情報発信が必要。(A) ・ 掲示板にQRコード付けたら。(A) ・ 町田市のZ世代がつながる市全体を話せる仕組み。(A) ・ 紙媒体も大事。(A) ・ コロナ禍でデジタル普及したが、コミュニケーションは難しい。(A) ・ 自分で情報をとりに行かないと得られない。(D) ・ 学校、学童が子どもを通して情報提供できるかも。(D) ・ 子どもの居場所などの活動の情報が、みんなに伝わるといい。(D) ・ 場所がないという声が多いので、空いている場所の情報提供できるシステムがあるといい。(D) ・ 施設が使える条件、金額を知りたい。(D) ・ 家庭に情報が届かない、新聞とってない。(D) ・ 情報・告知の仕方。(G) ・ 地域の情報を知る。(G) ・ キャッチコピー(例:こんにちはでつながるまち)ポスター(子どもの絵)を町中に貼る→まち全体で取り組む/まちぐるみ(H) ・ ご自宅、フェンスに貼る/きらぼし銀行に貼る(H) ・ 仕事の営業の時にお客様の悩み、やりたいことに対して情報を提供できる。まちの宣伝マン。(H) ・ SNSを使って子どもにアプローチ。(I) ・ 地域の掲示物を外からみえるように、コンビニなど若者が良く行くところに。(I) ・ 個人情報があつて難しい。(J)
町内会・自治会 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前は、自治会の運動会があった(多世代参加)。(D) 	町内会・自治会 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会に入るメリット提示。(C) ・ 花壇や室内活動があるのが良い。参加が少なくなっているので、町内会との連携。(F) 	町内会・自治会 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会を楽しめるように。(C) ・ 自治会を再建築する。(C)
高齢者 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化が進むにつれて認知症は増えていくので認知症の方に優しいまちにしたい。(オンライン) ・ 「共生の会」はすばらしいと思った。(オンライン) 	高齢者 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の方がもっと元気になれるようにしたい。外(社会)に出て行けるように！(淋しい高齢者が多い)。(E) 	高齢者 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員は、75歳以上高齢者、包括とつながっている。(D)
防犯・防災活動 (0件)		防犯・防災活動 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き巣対策・リノベーションをして明るいまちに。(C) ・ 街灯を増やす→防犯(C) 	防犯・防災活動 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ エリアのパトロール(防犯、防災)。(J)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (98 件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(108 件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(97 件)
その他の活動 (9件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寄せ木のサークル内のコミュニケーションが増えて欲しい！！(B) ・ 自分のまちがキレイに保たれて欲しい！！→自分の周りの小さな事から(B) ・ 「地域」から「趣味(好きなこと)」に参加するようになった。(D) ・ 動くのが好き、自転車で江の島まで行くなど、自由に。(F) ・ きらぼし、月一、支店長とハイタッチ。(H) ・ お客様に感謝される。お客様の課題が解決する。一人→まちに広がる。(H) ・ 「きんじょの本棚」に出会った。孫と一緒に本を借りたりしている。ノートがあるので感想などを記録したりできる。(オンライン) ・ ひだまりカフェにも本が置いてあった。コミュニティセンターの中にも子ども用の文庫がある。(オンライン) ・ 「きんじょの本棚」やっています。空いているガレージに本を置いている。地域のつながりができるといいと思う。(オンライン) 	その他の活動 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市と協力で家の近くにある竹林をキレイにしたい→もっと入れたらキレイにできる(B) ・ 高齢者でもスマホをもっている人たちが多くなってきた。80歳の人にラインを教えたらハマってくれた。(オンライン) ・ コミュニティセンターでスマホ講座をしている先生(清水さん)が教えてくれて出張講座も行っている。(オンライン) ・ 永尾亭でもスマホ教室を行ったら大反響で楽しかった。(オンライン) ・ メイク教室は？(山岡さん)ひだまりカフェでもあった。(オンライン) 	その他の活動 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者主体の同好会がなくなっていく。(J)
その他 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他国の地域のコミュニティの仕組みを学んでヒントを得る。(A) ・ 近所においしいお店がある。(C) ・ 川沿いにお店がたくさんある。(C) 	その他 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナが終息して欲しい。(B) ・ この状況をやぶっていく。(G) ・ 外遊び中のマスクについて二極化している。大人もマスクを外せるときは外す。(G) ・ 体力をどう取り戻していくか課題。(H) ・ オンラインに興味をもって今回行ったが、たくさん情報共有ができてとてもよかった。(オンライン) 	その他 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ まずは自己満足を伝染させていく。(B)

＜市ホームページ・メール等から頂いたご意見＞

地区別懇談会への参加が難しい方に、町田市ホームページやメール等で「① ワクワクするまち」、「② ワクワクするまちの姿を実現するために、あなたができること」、「③ あったらいいと思う地域の活動」をたずねて、ご意見をいただきました。

高ヶ坂・成瀬地区では、5名からご意見をいただきました。ご意見の内容は、以下の通りです。

① ワクワクするまち

- 景色の変化を感じられる街。
- 気軽に参加できる学習の場、賃金が安くても働く手立てがあるなど社会と繋がっていたり、社会貢献出来てと思う人が多くなれば、心の元気を維持出来る。何か出来る事ないかな!から始まる。
- お祭りやイベントで、幅広い年代が楽しんでいる街。
- ルールを守り多くの人と楽しいことができるまち。

② ワクワクするまちの姿を実現するために、あなたができること

- 景観の保全、ゴミ拾い。
- ご近所さんの距離感のあるお付き合い。支えて支えられていけるのはまずはご近所からだと思えます。
- 地域の美化です。
- 地域を巻き込んだイベント開催。

③ あったらいいと思う地域の活動

- 私のご近所では、本の貸し借りをしています。コロナ禍でブロックごとのお茶会もままならない状態が続いているので、お互いの安否確認や健康状態も。些細なおしゃべりも出来て良い感じです。
- 高齢者向けイベント。